

-----6月7日-----

今週のアウトルック (6/7 ~ 6/11)

何も起こらなければ円安、きっかけさえあれば円高という流れが続きます。ハンガリー危機という新たな懸念材料により、投機筋には絶好の売りたたき材料が与えられてしまったようです。通常であれば、そろそろ円安にという考えが主流になりそうな時期ですが、まだまだ何かあれば過剰流動性に支配されてしまう状況を、考えておく必要があるように思います。

ドル円は、徐々にドル高という状況が進みそうな様子もあったのですが、ダウの急落や米国の景気回復懸念などに関心が行ってしまうと、まだまだ予断を許さない状況にありそうです。今週もダウの動き次第では、もう一段のドル安があってもおかしくないような気がします。

ドル円の予想レンジは89円から93円です。

ユーロはユーロドルがひとまずの目標である1.2割れを達成したことにより、大きな利益確定の動きがあるかもしれません。しかし、状況的にはギリシャ危機からハンガリーなどの東欧に危機が広がるという懸念材料から、投機筋のもう一段の売り攻撃があってもおかしくないようです。どちらにしても、大きなボラティリティを伴う乱高下という状況は避けられそうにありません。

ユーロ円の予想レンジは108円から113円です。

ポンド円もこのところの回復基調が再び崩れてしまう可能性はありそうです。ダウ下落、ユーロ危機の拡大という状況が進めば、再び125円以下を狙う動きが出てきてもおかしくなさそうです。

ポンド円の予想レンジは124円から135円です。

何も材料がなければ、円安が進む状況から、そろそろ円売りに走りたくもなる時期ですが、きっかけさえあれば大きく円高に進む状況は変わりありません。様子見というスタンスが、まだ正しいように思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。